



まいばら

まんすりーれぽーと

水害に強い地域づくり住民ワーキング (8月27日)

村居田区で、区長や区の役員らに県職員、市職員も交え、水害に強い地域づくりに向けた意見交換会が行われました。

村居田区では、平成22年度から3年間、避難ルールづくりを始めとした水害に「そなえる」対策を検討し、「水害に強い地域づくり計画」が作られました。

今回は、「滋賀県流域治水の推進に関する条例」のモデル地区として、この地域づくり計画を発展させ安全な住まい方のルールについて検討するものです。

今後、河川の「ながす」対策だけでなく、「ためる」「とどめる」「そなえる」対策を総合的に実施するため、話し合いが進められる予定です。



STOPいじめ!米原生徒会フォーラム (8月29日)

人権総合センターS・Cプラザで、市内7つの中学校の生徒会役員が参加し、いじめ対策の取り組みを発表しました。これは、各学校の交流を通して、いじめ対策の意欲付けや小規模学校の活性化につなげたいと市教育委員会が初めて開催したものです。

はじめに、大東中学校、米原中学校が取り組みを発表し、学校主導で作られた「いじめ撲滅宣言」を生徒たちで改正したことや、気軽に相談できるボックスの設置、あいさつ運動や募金活動などを紹介しました。続いて、各学校からも生徒会活動を紹介し、お互いの生徒会活動に対する質問や、参考にしたい取り組みについて意見交換が行われました。

生徒らは、「これからの生徒会活動に生かしていきたい」「新しい意見を持つことができた」「意見を共有することの大切さに気付けた」など一人ひとり感想を述べました。



市民が創る湖北の未来プロジェクト2014 知と地が結ぶ地域創造フォーラム (8月30日)

湖北地域の資源の活用をテーマに、長浜青年会議所が長浜市勤労者福祉会館臨湖でフォーラムを開催し、米原、長浜市から約100人が参加しました。

NPO法人CESA専務理事の今村忠彦氏を講師に「循環型社会への仕組みづくりとみんなの役割」についての講演の後、長浜青年会議所が長浜市小谷郡上町で取り組んでいる小水力発電事業の報告が行われました。続いて、今村氏をコーディネーターに地元の有識者ら6人がパネルディスカッションを行い「文化、歴史、自然といった湖北の豊富な地域資産を活用して循環型社会を目指すためには、どう維持していくかに視点を置くことが大切」など意見が交わされました。

